

施設長 各位

那覇市医師会

会 長 山城 千秋

担当理事 宮城 政剛



日頃より予防接種事業及び感染症対策にご支援ご協力賜り、感謝申し上げます。

先日(2/26・木)開催の会議内容を「速報版」でお届け致します。

☆ 問合せ先：那覇市医師会・事務局(上地・上原) Tel 098-868-7579

## 第1回 那覇市新型コロナウイルス感染症医療対策連絡会議

令和2年2月27日(木)、第1回那覇市新型コロナウイルス感染症医療対策連絡会議が那覇市保健所において南部地区の病院関係者、那覇市保健所、那覇市医師会、事務の方々に参加して開催されました。

まず新型コロナウイルス感染症の流行状況と国の動向、那覇市保健所の取り組み、新型コロナウイルス感染症にかかわる医療提供体制の説明がありました。

その後、意見交換となりましたので、箇条書きにて報告いたします。

1. 県内発症は3例(1例目：2/14、2例目：2/19 3例目：2/20)の発症があるが、保健所はいずれもダイヤモンド・プリンセス関連の感染症と考えている。この3例の感染患者の接触者に関して観察をしているが、接触者からの発症は今のところない。ダイヤモンド・プリンセス寄港から時間が経過しており、第一波は収まりつつあると考えています。
2. 本土より国内発症者との濃厚接触をした人が沖縄に来ているとの情報があるが、これらの人との接触者も観察対象となっております。
3. 新型コロナウイルス感染症による死亡率は中国全土で2.3%であるが、湖北省では高くなっております。
4. 南部地域の協力病院も診断には苦慮しています。
5. 感染症指定病院の県立南部医療センター・こども医療センターは感染病棟4床であったが、今後に備え「9床」に増床しております。
6. 感染症指定病院、協力病院での診察医師は新型コロナウイルス感染症患者を診察してもPPE(personal protective equipment:個人防具)を着用して診察、治療に当たるため観察対象にはなりません。
7. 那覇市立病院も建物(構造)が古くゾーニングに問題があり、ウォークインで疑い患者が来院した場合、場合によっては救急閉鎖もありうるとの事です。
8. 介護施設での今後の方針に関しても早めに検討していただきたいと思います。
9. 保健所も多くの観察者を抱えているということ、毎日の相談件数の多さ、各施設からの苦情対応で職員は皆、疲労の様相が強くなっております。

10. 那覇市立病院からは、いよいよ発熱患者が多くなった場合、発熱外来を設けて医師会の先生方にも協力いただきたいと依頼がありました。

11. 現在の医療体制としては第一段階であり、封じ込めの時期であります。

疑い症例については保健所にご相談下さい。

(那覇市保健所 … 電話 098-853-7971)

12. 県立南部医療センター・こども医療センターからのお願いです。

新型コロナウイルス感染症疑いの場合、紹介状を患者に持たすだけの紹介方はやめてほしいと依頼がありました。

これには理由があり紹介状を持ってこられるとウォークインとなり院内の色々な場所での接触が起きてしまうので、本当に陽性だった場合、後の処置が大変になると説明がありました。

実際、南部医療センターでは濃厚接触と考えられた3人の医師が14日間の休業を余儀なくされたようです。事前に保健所等にご相談していただきたい

以上が、新型コロナウイルス感染症医療対策連絡会議の概要です。特に9、10、11、12は重要事項であると思われました。

このような非常事態は保健所を含め、指定医療機関、協力医療機関、クリニック共に大変な状況になるということ、それぞれの医療機関の困窮した状態、また指定感染症という、今まで経験したことがない感染症を見たとき診断までプロセスで問題が起こりえると言うことが良く分かる会議でした。

(文責 宮城政剛)



東所長や仲宗根先生を中心に知花なおみ先生や宮城雅也先生等々にて熱心に討議されました。

(追伸) 那覇市帰国者・接触者相談センターの回線増設について

那覇市では、新型コロナウイルスへの対応として、2月13日(木)から「那覇市帰国者・接触者相談センター」を設置。2月20日(木)に、県内で3例目の患者が確認されたことに伴い、問合せ先の増設を行いましたので、お知らせいたします。

**【那覇市帰国者・接触者相談センター】・098-853-7962 ・098-853-7971**

以上です。